



いかるぎ野今昔 ⑬

時は移り三十年

あれから三十年…なんて言うのと、綾小路きみまろのセリフのようですが、頼成もすっかり変わりました。

右の写真は四年前の平成十九年に写されたもので、工事中の砺波野大橋や移築された養豚場などが見えます。

左はおおよそ三十五年ほど前の同じ地域を写したもので、両方をじっくり見比べてみると、わずか三十年ほどの間に頼成が見違えるほど変わっていることに気づかれます。

す。両方の写真に共通して目立つ建物といえば中学校ぐらいのもので、右の写真には小学校、病院、営農組合、集落センター、トラクタターミナルなど、この三十年間に新たに出来たものが幾つも写っています。そしてなによりもはっきり目につくのはなんと、言っても土地の区画でしょう。不規則に曲がりくねった畦畔が短冊形に整地され、農道が東西南北に何本も通されて、いかにも整然とした様子に変わっています。時代の流れにつれて生活基盤が近代的で合理的な形に整備されていくのは当然ですが、頼成の地形にほんの少しばかりアクセントを持たせていた川原部落から北に延びる四番堤や川原宮の杜が無くなってしまったことや、さらさらと流れる小川のせせらぎが聞こえなくなってしまうのはいかにも寂しいかぎりです。

作品展開催期日変更のお知らせ

一月号にて二月十五日(第三水曜日)とお知らせしましたが都合により二月二十二日に変更させて頂きますのでご了承願います。

般老連 高齢者学級
二月二十一日午後一時半
改善センターにて
講師 南砺市医療局指導官 山口裕幸氏
演題「くすりと健康」



辰年の初めての浮世亭。互いに賀詞を交わした後、新春お楽しみ大会が開催されました。冷え込みは厳しいものの朝から快晴の好天に恵まれ、29名の方々が参加されて楽しいひとときを過ごしました。定番のじゃんけんゲームや風船割りのほか、今回はみんなで「年の初め」の歌の合唱やカルタ取りなど、子供の頃を思い出す懐かしいものも取り入れました。午後の書写・朗唱の集いは阿弥陀経を読誦したあと、仏説観無量寿經の第十回目「水想観」について説いた部分を書写しました。



次回は2月22日(水)です。光寿会との共催で第二回光寿会会員作品展を開きます。

1日	光寿会定例役員会
11日	頼成自治会総会
21日	般老連・高齢者学級閉講式 記念講演会(上に案内記事)
22日	らんじよ浮世亭・作品展
25日	光寿会新旧合同役員会